

特定非営利活動法人
シルバーアドバイザー・ネット大阪

第19期 通常総会
議案書

- ・開催日時 2025年6月7日（土） 午後1時30分
- ・開催場所 大阪日本語教育センター会議室

1 通 常 総 会 議 事 次 第

1 開会

2 挨拶 1) 理事長挨拶

2) 来賓挨拶

3 議長選任

4 議長就任挨拶と議事進行

1) 会議成立要件の確認

2) 議事録署名人の選任

3) 議案審議

第 1 号議案 第 19 期事業報告承認の件

第 2 号議案 第 19 期決算報告と監査報告承認の件

第 3 号議案 役員選任（案）の件

第 4 号議案 第 20 期事業計画（案）の件

第 5 号議案 第 20 期活動計算書予算（案）の件

5 議長解任

6 閉会

第 1 号議案 第 19 期事業報告

I. 第 19 期事業 総括報告

第 19 期における世界情勢は依然混沌としていてウクライナ・ミャンマー・中東において未だに紛争が続いている。一個人の非力を感じながらも世界の人々の良心を信ずるばかりです。そんな中、当法人としてウクライナから避難されている人達の為に、初めてのクラウドファンディングに取り組み、その資金で支援活動に取り組んだ。料理講習会、ハロウィンパーティー、コンサート招待、古民家での書道体験他延べ 5 回の主催事業・2 回の共催事業の延べ 7 回の事業を実施した。国際交流センターとの協力関係を築くことができた。

また本部事業として実施している「おもちゃ学校」も 5 期を終了した。又修了生の中からは 5 期会が生まれ、SA ネットに加入し継続的に活動を実施した。また修了生の活動として「夏休み子ども工作教室」・「冬休み子ども工作教室」は子ども夢基金の助成を貰って実施した。

おもしろ算数教室事業部も読売文化センターの活動が定着し「生き生き教室」とともに継続的に活動した。

当法人を取り巻く関係団体として、従来からご指導を願っている大阪府社会福祉協議会・大阪ボランティア協会・大阪市生涯学習センターなどの団体に加えて昨年度大阪府 SA 連協に加入した、この団体とも歩調を合わせ活動を進めた。特にウクライナ支援活動では共催事業として共に進めた。

イベント関係ではアーバンツーリズムの受託事業として北御堂や船場祭りの催しに「親子おもちゃ教室」の出展をした。

II 事業部 活動報告

1、伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

「新型コロナウイルス感染」が少し収まりかけているが油断をしないように活動する事を心掛けての、一年間でした。

① 四天王寺「わっか市」 月に 1 回第 1 日曜日 参加回数 7 回。「わっか市」は、4 月、6 月、10 月、11 月、12 月、2 月、3 月と開催。「市」が定着し、多くの方々に賑わいが戻ってきました。私たちの「おもちゃづくり」はリピーターが多く待ち時間が長くなることから、テントを準備する前から 3～4 人待ってもらうこともありました。この頃ではお年寄りのグループも足を止めおもちゃを覚えて帰りたいと並ばれることも有ります。おもちゃ作りに参加されることで、お子さん親御さんたちにとっても会話が弾む大切な時間であり、また情操教育に役立つことだと実感しました。

② 「おもちゃづくり教室」 隔月第 3 火曜日 実施 6 回（大阪中央区民センターにて）

年 6 回（5 月 7 月 9 月 11 月 6 年 1 月 3 月）の開催となりました。高齢化が進み参加人数が減ってきていますが、講師の方を始め皆さん熱心に取り組んでいます。また、時には若い方に講師をお願いし、工夫・アレンジした独自のおもちゃを披露されることもありました。いろいろな意見を持ち寄り、充実した時間を過ごすことができたと思っております。

- ③NPO 法人大阪区民カレッジ受講生への指導 実施 1 校（天王寺区民カレッジにて）。
- ④今年度は 1 校でしたが、とても活発な皆さんで 用意していた作品は易しくて早く終了したことを踏まえて下準備を何処までするか難しい事だと考えさせられました。

2、おもしろ算数教室事業部 活動報告

今年度は、大阪読売文化センターからの依頼による講座として、LIC はびきのでの活動が中心となりました。参加者の方々はいずれも「算数パズルでは、難しいものもあったが、楽しかった」と仰っておられました。「楽しいから、次回の募集での参加申し込みの勧誘をした」という方や「誘ってもらって良かった。楽しい」と、賑やかにおしゃべりが続いています。

このように、楽しみながら「マジックの謎解きをする・パズルを解く・簡単な計算をする」に取り組む事によって、脳を活性化することが出来ます。

パズル体験やおもしろ算数パズル塾の活動は、なかなか困難です。しかし、相変わらず「おもしろ算数教室とはどのようなものか」を知って頂く絶好の機会だと考えています。そこで、パズル体験が以前のように再開できるようになった次には、現在、参加には、大きい溝となっている「参加すると頭をはかられる」感覚を除き、又は小さくするための工夫が求められています。

人気の「清少納言知恵の板」と新しい「ユークリッド知恵の板」をサポートの方と協同で作成し、人気の取り組みとなっています。

3、国際交流事業部

コロナ禍の中、苦肉の策で開始した海外の日本語学校とのオンライン交流活動であるが期の途中で休止状態となった。中心になって活動されていた方のご逝去があったりしたが再開を期してミャンマーの情勢好転を願っている。

①ミャンマー日本語学校（ヤンゴン）との ZOOM 交流活動

- ・名 称：「日本語で話そう」交流会
- ・活 動 日：毎週水曜日 16:30～17:30（現地時間 14:00～15:00）

第 11 クール 2024 年 4 月～ 6 月 計 10 回

各回 日本人メンバー 6 名、ミャンマー側 6 名～10 名、コーディネーター 1 名

- ・交流内容：毎回のテーマに沿って最初の 20 分を参加者が 1 分程度話し、その後グループに分かれ其々が話す。最終の 10 分程度をグループでの話した内容の報告にする。

②大阪日本語教育センター・留学生との交流活動

- ・名 称：「似顔絵描きと折り紙体験」交流会
- ・活 動 日：5 月 21 日（火）
- ・交流内容：修了生に対して「幸せの星」の進呈

似顔絵を描いてあげてプレゼント、折り紙体験、折り紙作りを通しての交流

③大阪大学留学生ホストファミリー（OHP）

コロナで休止中であったのが、ようやく再開された。日本人 6 名、留学生 6 名でのホストファミリー活動。SA ネット大阪の会員以外の方が参加のケースが増え、ほぼ独立した活動となる。

5、 おもちゃ学校大阪校（指導者養成学校）活動報告、

＊講師 9 名、補助スタッフ 6 名で運営

（第二火曜）＊詳細別紙

開催日	工作①	講師	工作②	講師
4/9（火）	入学式自己紹介ミーティング		ビー玉万華鏡	松森
5/14（火）	傘ロケットクラフト飛行機	佐藤	十字プロペラ	木下
6/11（火）	紙コップけん玉、パラパラ提灯	上坂	ストロートンボ 飛行機	馬場
7/9（火）	エコマと不思議物体	高松	校外学習イベント準備	
7/28（日）	校外学習 子ども向けイベントへの		ブース出展（2 ブース）	
9/10（火）	おり染め	森下	相撲ロボット	大澤
10/8（火）	修了記念講演		成果発表会・修了式	

5、 広報部 活動報告

1）広報誌の発行

- ・広報紙「SA・ネット大阪ニュース」42 号＝2024 年 07 月（年 1 回）発行しました。
- ・高大校友会・PR コーナーが 2024, 4 で「コーダイ」新館移動時廃止になり SA ネット大阪のチラシ等 PR 活用残念ながら出来なくなりました。

2）ホームページの推進

- ・SA ネット大阪事業部主催のイベント、関連組織イベント都度発行、更新を行いました。

3）関連団体主催のイベントに参加。

- ・「総合フェスタ 2024」・市立総合生涯学習センター大阪駅前第二ビル（大阪校修了生参加）
- ・「第 16 回コーダイフェスタ」（豊中文化芸術センター）校友会メンバーとして参加、
- ・「第 1 回第ボランティア、フェスティバル」（SA 認定証授与式）SA のコーナー設置以上の PR に努めました。

4）・郵送料の圧縮・広報誌の広告募集の推進を行い、広告協賛を戴きました。（ネット大阪ニュース 42 号＝「フットマークス」様＝20,000）寄付。

5）ウクライナ避難民支援・

寄付を集め、支援をする、クラウドファンディング、関係者（キャンプファイヤー、ケイズハウス、SA 関係者支援者）の推進を協力しました。

6, 本部事業活動報告、

1) ウクライナ避難民支援活動

- ・ 2024 年 5 月 1 日～7 月 31 日クラウドファンディング実施
- 〃 8 月～具体的活動開始
- 〃 10 月 25 日（金）・ハロウィンパーティー 於 YoloJapan
- 〃 11 月 2 日（土）・日本料理の講習会 於クレオ中央調理室
- ・ 2025 年 1 月 13 日（祝）・千里フィルハーモニアコンサート招待
- 〃 2 月 14 日（金）・バレンタインパーティー、ウクライナ食堂 於 YoloJapan
- 〃 3 月 02 日（日）・白洲記念館見学&書道体験

※各回のイベントに 10 人～20 人の参加者があり、それぞれに交通費を支給。

2) 国際交流センター共催事業

- ・ 2025 年 2 月 23 日（日）・浴衣着付け体験 於 国際交流センター
- ・ 〃 3 月 16 日（日）・茶道体験会 於 国際交流センター

第 2 号議案 第 19 期決算報告と監査報告

I 第 19 期 決算報告・・・・・・・・・・別紙「決算報告書」を参照願います。

II 第 19 期 監査報告・・・・・・・・・・別紙「監査報告書」を参照願います

第 3 号議案 役員選任の件(案)

第 20 期

現在の役員		新役員候補（案）	
理事（理事長）	村松 秀明	理事（理事長）	村松 秀明（再任）
理事（副理事長）	大川 正彦	理事（副理事長）	大川 正彦（再任）
理事（副理事長）	二葉登代子	理事（副理事長）	二葉登代子（再任）
理事	武内 信憲	退任（ご逝去）	
理事	島田 道子	退任	
理事	森川 加也	理事	森川 加也（再任）
理事	渡邊 耕平	理事	渡邊 耕平（再任）
理事	長澤 慎治	理事	長澤 慎治（再任）
		理事	馬場 頼子（新任）
		理事	奥田 まり子（新任）
		理事	森下 恵子（新任）
監事	手塚 之博	監事	手塚 之博（再任）

第 4 号議案 第 20 期 事業計画（案）

I 第 20 期 総括事業方針

活動を活性化させ活動に参加する人を増やす事、そのことが社会貢献に繋がると言うことを自覚し新たな活動、新たな活動者の加入を促進していく。一人一人が元気に活動し健康寿命を 1 年延伸させることは 200 万円の社会貢献に繋がると言う事を大阪府介護支援室からの講師から教わり、その事を常に意識して会員数増加をはかる。

6 期目となる「おもちゃ学校」の運営をきっちり行い、修了生の当団体への加入を促進する。また既に修了生活動を行っている 3 つのグループに対して適時、子ども向けのイベントの紹介を行い、日頃の成果を発揮できる場作りを行う。その為に SA 連協・大阪市 SA・高齢者大学校子ども事業部ともよく連携を取っていく。

各事業部の活動は、それぞれ活動の内容を吟味し縮小・拡大をそれぞれで判断し行っていく。

国際交流事業部は昨年 7 月から休止状態になっているオンライン交流を再開する。昨年度から始めたウクライナ避難民支援活動を継続する。昨年同様に合計 5 回の交流イベントを企画実施する。

今年 20 期を迎えた事で第 20 期総会は 20 周年記念大会としたい。今年度は、その為の準備を順次進めていく。

II 事業部 活動方針

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動計画

① 四天王寺「わっか市」

四天王寺境内で原則、月 1 回第 1 日曜日（令和 6 年度 7 回に催される「わっか市」は、年々参詣客、観光客等が増え、朝早くから賑わっています。今年度も「市」が定期的に開催され、数多くのおもちゃを持ち寄り、皆様が喜んで帰られる事を望んでおります。

② 「おもちゃづくり教室」

奇数月 1 回第 3 火曜日（年 6 回）に開催している「おもちゃづくり教室」は 日本古来より伝承されてきたおもちゃを、先輩たちが講師として指導してきました。現在高齢化が進み人数が少なくなってきましたので、おもちゃ学校修了生などに声をかけて人数を増やす努力を続けております。参加された若い世代に継承され、各々の地域で活動されております。今年度も従来の路線を継承しつつ、新しい目線で「教室」の運営を図りたいと考えています。

2, おもしろ算数教室事業部 活動計画

如何にすれば、おもしろ算数教室やパズル体験に足を運んで頂けるか」を考えています。参加していただけると、高齢者には、脳の活性化がはかられ、認知症予防の 4 本柱

【食生活の改善】 【頭（脳）のトレーニング】 【運動習慣を付ける】 【質の良い睡眠】の内の一つの役割**【脳のトレーニング】**を担うものと理解して頂けるでしょう。

また、小学校のいきいき教室でも高い評価を得て、小学生相手の活動も頑張りたいと思います。

以上で、当初の狙い「子どもには、考える力を養い、高齢者には脳の活性化を図り、認知症予防、を図られる」と考えています。その上に、この教室の内容を理解して頂くためには、パズル体験が良い機会だと考えています。今後共に、サポーターの皆さんと一緒に、その機会を探り求めていきたいと考えています。

3, 国際交流事業部 活動計画

2020 年度にコロナ禍の中での活動として始めたオンライン国際交流活動を今期も継続致します。国際文化交流科の修了生を中心に SA 連協の S A 吹田・国際交流部とのコラボを含めてミャンマーとの交流は継続します。トルコアンカラ・イスタンブール ISMEK（イスタンブール職業訓練コース）との交流が暫く途切れているので秋からの再会を目指して準備を進めます。

認定 NPO 大阪府高齢者大学校・国際文化交流科や英語クラス、IT 関連のクラス、似顔絵を楽しく科等の修了生に対する修了後活動の提案を、アドバイスを行なって行き、一人でも多くの仲間作りに努めたい。また日本語教育センターや YOLO JAPAN 等、大阪において海外からの外国人に対応している 団体・企業との連携を深めていき、外国人と共生社会の実現に貢献できるようにしていきたい。

具体的活動 ・ミャンマー「日本語で話そう」交流会 第 11 クール～第 13 クール。1 クール 10 回、 合計 30 回 ・トルコ「日本語で話そう」交流会 1 クール 10 回 ・交流相手国候補 ベトナム・インドネシア ・日本語教育センターの留学生との交流（ミャンマー 18 人） ・YOLO JAPAN とのコラボ活動 外国人食堂等

・大阪市教育会館内の福祉団体との交流活動 ぽっちゃ交流会。・ウクライナ支援活動はコンサート紹介・YoloJa・ウクライナ支援活動はコンサート紹介・YoloJapan 外国人食堂・日本文化体験・レクレーション等、日本での生活を楽しんで貰い、良い思い出になる事を願って活動を進めて行く

5、おもちゃ学校大阪校（指導者養成学校）活動計画

＊講師 9名 補助スタッフ6名で運営

第2（火）＊別途計画、別紙

開催日	工作①	講師	工作②	講師
4/8（火）	入学式自己紹介ミーティング	長澤	基本講座、「江戸からくり	佐藤
5/13（火）	パンダ皿回し	馬場	風車（8枚）・お散歩うさぎ	奥田
6/10（火）	ストローとんぼ・飛行機	上坂	ダンシングピエロ ライオン電車	木下
7/8（火）	移動君、真ん中ドア	高松	校外学習イベント準備	奥田
7/27（日）	校外学習 子ども向けイベントへ	ブース出展（2ブース）		奥田,馬場
9/9（火）	パクンワニ・メビウスの輪 森下（都）	月面探査車		長澤
10/14（火）	地域の中での活動	社会福祉協議会・成果発表会・修了式		

4、広報部 活動計画

方針：広報誌の発行と対外啓発活動（チラシ、ホームページ）等を行い、NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪のフアンづくり又新規事業による収支の良化、新人導入による世代交代を図る施策等の支援を継続します。

1) 広報紙の継続発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、43号（総会特集）令和6年7月の発行予定。
 - ・協賛金組織による広告宣伝費協力をお願いします。
 - ・会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り新会員に発信します。
- ② 各事業部のイベントチラシの支援、受講者アップを図ります。

2) 啓発活動

- ・高大校友会のPRコーナー（3F）のラック2025年度は閉鎖新規媒体を考える
- ・関連団体行事の「コーダイフェスタ」「コーダイジョイフルゲーム」大阪区民、大阪府民カレッジ修了式「ボランティアフェスティバル」等に府SA連協事務局と共同で参加し、PRブースで資料でのSAネット大阪、SA連協のPRに努めます。

3) ホームページの推進

- ① SA ネット大阪主催のイベント「フレイル講演会」「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」「おもちゃづくり教室」「おもちゃ学校（大阪校）」等の各事業部の活動アップ、資料更新と引き続き「事業部トピックス」の充実で、定期的なホットニュースを発信いたします。
- ② 「SA ネット大阪ニュース」42号＝令和6年7月（総会特集）をアップします。
- ③ 関連団体のNPO大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告を更新します。
- ④ 新規事業トピックスを更新又、「クラウドファンディング」コーナー設置
- ⑤ 事業部、以外に広報部を設け、本部事業をより多くアップします。

第 5 号議案 第 20 期活動計算書予算（案）

第20期（2025年度）活動予算			
2025年4月1日～2026年3月31日		(単位：円)	
科 目	2024年度実績	予算案	備考
I 収入の部			
1 会費収入			
(1) 正会員費	54,000	54,000	正会員18名
(2) 賛助会員費	68,000	70,000	賛助会員70名
2 受取寄付金	370,351	50,000	
3 受取助成金等			
助成金収入	556,350	300,000	子ども夢基金
4 事業収益			
物品販売収益	9,500	10,000	
行事参加会費収益	387,279	340,000	受講料25万他
謝金	192,149	200,000	
他事業収入	66,719	70,000	
5 その他の収入	44,707	30,000	
当期収入 合計 (A)	1,749,055	1,124,000	
前期繰越一般正味財産	1,018,219	1,001,338	
前期繰越指定正味財産		331,641	
収 入 合 計 (B)	2,767,274	2,456,979	
II 支出の部			
1 事業費			増加額
(1) 人件費		0	
(2) 活動手当	202,000	203,000	
(3) 諸謝金	344,270	400,000	+5万円
(4) 印刷製本費（事業）	39,146	90,000	+5万円
(5) 会議費（事業）	0	5,000	
(6) 会場費（事業）	131,920	135,000	+3万円
(7) 旅費交通費（事業）	203,409	210,000	
(8) 通信運搬費（事業）	1,750	4,000	
(9) 材料費（事業）	148,771	150,000	
(10) 消耗品費（事業）	16,483	20,000	
(11) 租税公課（事業）	28,533	30,000	
(12) 支払い手数料（事業）	137,820	170,000	+3万円
(13) 雑費（事業）	24,024	25,000	
2 管理費			
(1) 人件費	22,000	22,000	
(2) 印刷製本費	18,993	20,000	
(3) 会議費	39,677	40,000	
(4) 会場費	0	0	
(5) 通信運搬費	30,277	30,000	
(6) 消耗品費	5,740	6,000	
(7) 諸会費	17,600	18,000	
(8) 支払い手数料	15,288	16,000	
(9) 管理諸費	6,594	7,000	
(10) 雑費	0	5,000	
3 予備費		50,000	+5万円
当期支出 合計 (C)	1,434,295	1,656,000	
当期収支差額 (A - C)	314,760	-532,000	
次期繰越一般正味財産	1,001,338	800,979	-200,359
次期繰越指定正味財産	331,641	0	-331,641
次期繰越収支差額 (B - C)	1,332,979	800,979	-532,000

NPOシルバーアドバイザー・ネット大阪



SA・ネット大阪の目指す姿

世代・国籍を問わず全ての人々と連携して**多文化共生社会の実現**を目指す